

大阪都構想 大阪の起爆剤になるのか

大規模開発は「都」で 住民サービスは自己責任で

カジノにホテル、道路
儲けるゼネコン・銀行

統一地方選挙が近づいてきた。今回の選挙、民主党政権の行方を占うものではあるが、同時に大阪の未来を決める選挙でもある。

その鍵を握っているのが、「ワン大阪」「大阪都構想」をぶち上げる大阪府の橋下知事だ。そして、知事が代表を務める「大阪維新の会」である。

さて、「大阪都構想」の中身はどのようなものなのか、ここでその概要を見てみたい。



次田市は「次田文」こと

都市計画にかかる大規模事業を受け持つので、これまで大阪市や吹田市が手がけていた大きな事業などは都が引き継ぐことになる。いまは大阪市内を網の目のように走る大阪市営地下鉄も大阪都が設置されると都営地下鉄に生まれ変わるか、民間に売却される可能性が高いはずだ。

広域行政を受け持つと綺麗事を言つても、さて本音はどうなのか。実は、これが自民党流のゼネコン型大型開発と変わらないのである。橋下知事もしきりにカジノ誘致を口にしているが、万が一、大阪にラスベガス級のカジノが誕生するとなれば、当然、ホテルや道路の建設ラッシュが始まるることは間違いない。結局、湾岸開発にしてもカジノにしても、あるいはその他の社会インフラの整備にしても、儲かるのはゼネコンと銀行、そして一部の政治家といふ四

大阪者になれば

大阪呑

当然吹田は…

大阪都は財源
一人じめ

The cartoon consists of three panels:

- Top Panel:** A man in a suit and tie is shown from behind, looking at a large stack of papers. He has a worried expression. A speech bubble above him says "吹田の金庫も底へいた" (The Kita Treasury is empty). Another speech bubble to his right says "カジノの穴うめに追われて" (Chasing after the hole in the Casino). To the right of the man, the text reads "一方吹田は財政難" (Meanwhile, Kita is facing financial difficulties).
- Middle Panel:** A group of people are shown from behind, looking towards the right. They are labeled "自助" (Self-help) and "互助" (Mutual aid). Above them, the text reads "そのしわよせかい" (That's why it's a bad idea). Below them, several speech bubbles contain text: "学校の高さ" (School height), "保育園" (Nursery school), "保育所" (Childcare center), "国保" (National Health Insurance), "救急" (Emergency), "どうなる" (What will happen), and "あしこなれ" (It's not good).
- Bottom Panel:** A man with a shocked expression is shown from the chest up. He is surrounded by speech bubbles. The text includes "私たちが" (We), "主人公" (Main character), "うちかづね" (Kazune), "大阪と" (Osaka and), and "地域主権" (Local autonomy).

あげくに吹田市は、今の財政維持できず、しわ寄せは住民に

**吹田市の税収が
都にまきあげられ**

ところが大阪都になれば
吹田市が稼いだ税収は一旦
大阪都に吸い上げられる
都が吸い上げた税収は特別
区に再分配すると知事らは
語っているが、どのように
またいくら配分する今まで

ころか、実は、吹田市のような比較的元気な自治体を衰退させる要素を含んでいることが分かつてくる。この統一地方選挙、一時的な狂ムードに流される愚だけは避けたいものである。

2重行政解消どころか 「多重行政」に

る最高の手段だとしきりに宣伝する。確かに知事が言うとおり、大阪府と大阪市が再編すれば司令官は1人、財布も1つのだから、形の上では二重行政はなくなるだろう。だが、大阪都にぶら下がる約

20の特別区は中核市並の予算と権限を持ち、かつ自治権も有しているという。つまり、住民サービスのために図書館やプールを作るのは特別区の自治、住民の自己責任に任せることだ。

となれば、たとえば旧大阪市内に登場する8つの特別区が、勝手バラバラに、やれ図書館を建設しろ、それ病院を作れと言い出しかねない。これでは二重行政の解消どころか、何重行政になるか

は不明。あろうことか「詳細な制度設計は後で決めればいい」という態度である。しかし、親分である大阪都が稼がなければ、子分である特別区に十分な予算が回つてくる道理などない。良くて現状

11

一方、大阪都の下には基礎自治体というものが並んで

あるいはその他の社会イン

都市計画にかかる大規模事業を受け持つので、これまで大阪市や吹田市が手がけていた大きな事業などは、都が引き継ぐことになる。いまは大阪市内を網の目のように走る大阪市営地下鉄も、大阪都が設置されると都営地下鉄に生まれ変わるか、民間に売却される可能性が高いはずだ。

広域行政を受け持つと綺麗事を言つても、さて本音はどうなのか。実は、これが自民党流のゼネコン型大型開発と変わらないのである。橋下知事もしきりにカジノ誘致を口にしているが、万が一、大阪にラスベガス級のカジノが誕生するとなれば、当然、ホテルや道路の建設ラッシュが始まるることは間違いない。結局、湾岸開発にしてもカジノにしても、

大阪府や大阪市を本気で潰そうとしている。いや、大阪市だけではない。この吹田市だってマナ板に乗っている。知事派が選挙で勝利すれば、わが街・吹田市も無傷ではいられないのだ。

企業誘致など産業基盤の拡充に専念することになる。

つまり、大阪都はもっぱら、都市計画にかかる大規模事業を受け持つので、これまで大阪市や吹田市が手がけていた大きな事業などは都が引き継ぐことになる。いまは大阪市内を網の目のようく走る大阪市営地下鉄も、大阪都が設置されると都営地下鉄に生まれ変わるか、民間に売却される可能性が高いはずだ。

吹田市は「吹田区」に？

一方、大阪都の下には基礎自治体というものが並ぶ。

となれば、たとえば旧大阪市内に登場する8つの特別区が、勝手バラバラに、やれ図書館を建設しろ、それ病院を作れと言い出しかねない。これでは二重行政の解消どころか、何重行政になるか分かつたものではない。

予算だって、どうなるか分からぬ。現在、吹田市の予算は約1千億円。地方交付税交付団体になりはしたが他市に比べ、税収も比較的豊富で財政状況も良好である。

吹田市の税収が都にまきあげられる

少しそうしてみると、大阪都構想は絵に描いた餅どころか、実は、吹田市のような比較的元気な自治体を袁退させる要素を含んでいることが分かつてくる。この統一地方選挙、一時的な狂ムードに流される愚だけは避けたいものである。